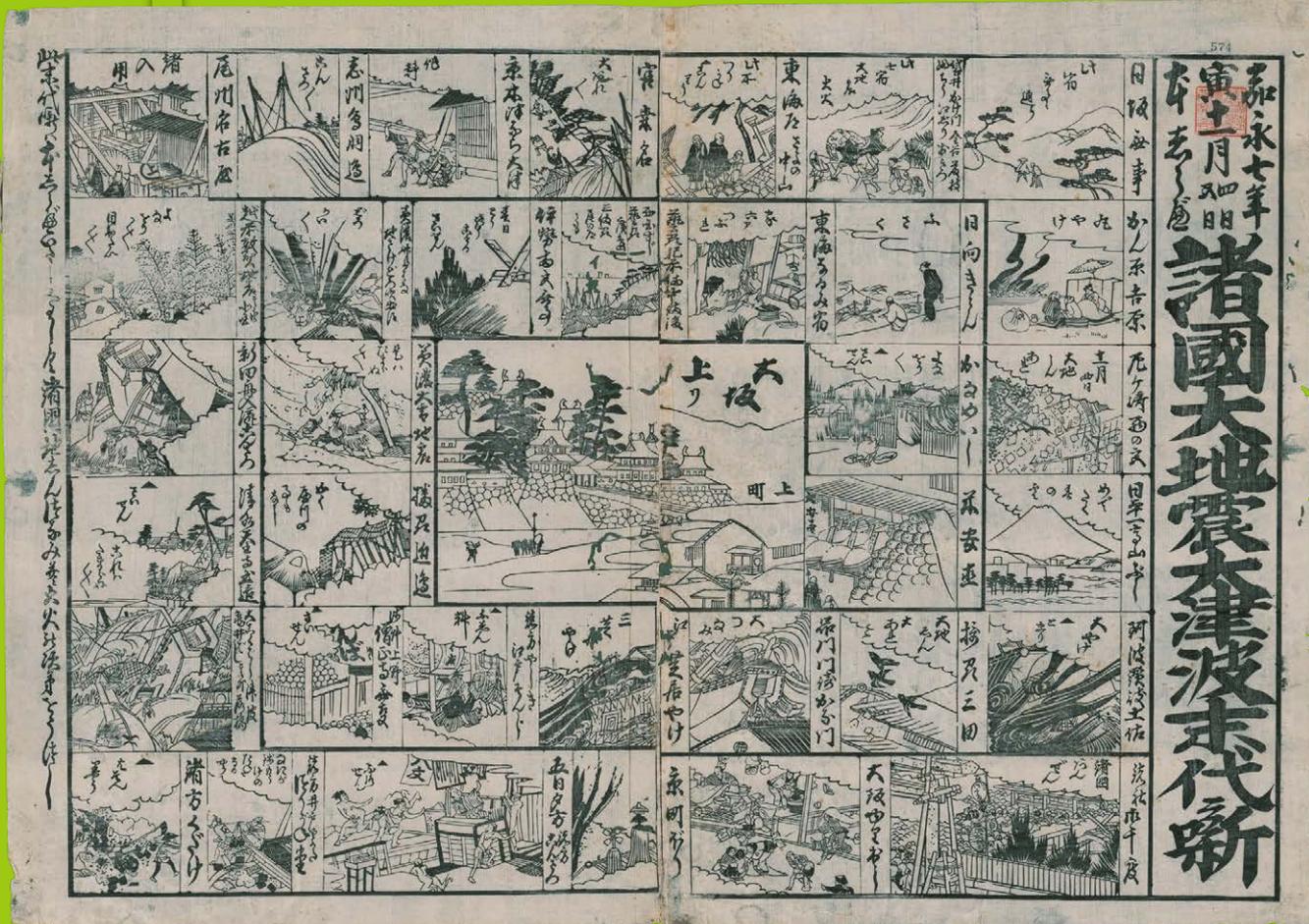


2025.12
 vol.
324



▲7マス目・大坂・道頓堀川に津波が
 遡上。船が押し流され、橋が落ち、
 人が巻き込まれている。



▲29マス目・美濃国では地面から泥水
 が噴き出している（液状化現象）。

今号の表紙 すごろく仕立てのかから版「諸国大地震津波末代断（まつだいはなし）」は、
 右下からスタートして渦巻き状に36マスで構成されており、
 1854年の冬に起きた安政東海地震・安政南海地震の各地
 の被害について、簡単な絵と文で知らせています。この両地
 震は約31時間差で発生した南海トラフ地震で、死者数千人・
 家屋倒壊3万軒以上の被害をもたらしました。このかから版
 を解説した書籍『すごろくで学ぶ安政の大地震』も併せ、
 歴史から災害を知るきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。

写真：防災専門図書館
 URL：防災専門図書館デジタルアーカイブ
https://city-net.or.jp/htmls/pages/390_05.html
 ※資料を拡大して見られます



URL：書籍『すごろくで学ぶ安政の大地震』（風媒社）
<https://amzn.to/3J8keY7>



特集 耐震の転換点 2025→2026



国や自治体との連携が深まった2025年

国土交通省の「旧耐震住宅の耐震化推進プロジェクト」に木耐協が全面協力し、展示会ブースの運営、テレビCMの技術指導などを行いました。また、組合員の皆様にもご協力いただいた補強実施者へのインタビュー動画も制作されました。

また、内閣府に対し、木造住宅の耐震化促進施策を直接提言する「レジリエンスジャパン推進協議会の耐震リフォーム分科会」にも参画。組合員からの意見を集約し、現場の声を届ける取り組みを進めています。

一連の動きの原点は、2024年元旦に起こった能登半島地震です。住宅耐震化の遅れが改めて浮き彫りとなり、全国で耐震補強への機運が一気に高まりました。

国からの

依頼による

活動が活発化

国土交通省「耐震化プロジェクト」に全面協力



▲国土交通省の耐震化推進プロジェクトのHP



▲国土交通省のブースに木耐協の耐震年表が掲示されました

国の耐震化推進に向けた取り組みの中で、木耐協への協力依頼が増えています。こうした依頼に応えることで認知度を高め、組合員の皆様がより活動しやすい環境づくりに務めていきます。

レジリエンスジャパン推進協議会へ参画

全国8会場の組合員交流会に合わせ各地の県庁を訪問
静岡・名古屋・香川・高知・広島など

首都防災フォーラム
(東京都慰霊堂)で講演

中野区役所で春・秋に講演



▲中野区の耐震イベントで講演する関事務局長

集 耐震の

特 転換点

2025年は、耐震への関心が一段と高まるとともに、その質にも変化が見えた一年でした。木耐協には国や自治体から情報提供や講演依頼など、かつてないほど多くの

お声かけがあり、社会からの期待の大きさを実感しています。本特集では、そうした動きの背景と、2026年に向けてさらに変化する耐震の行方をまとめます。

文：伊藤健三

2026年は耐震技術が今まで以上に求められる時代に

新築価格の高騰により中古住宅や空き家の利活用のニーズが高まる中、最も重要なのが「耐震性の確保」です。さらに、改正建築基準法で4号特例が縮小され、主要構造部の過半を改修する際には構造計算や確認申請が必要になるなど、専門的な診断技術が求められる場面が増えていきます。こうした環境変化のなかで、正確な診断と確かな技術力が、これからの工務店の信頼を左右する時代になりました。

木耐協では、「耐震診断・補強設計研修会」や「現地調査実践研修会」など、実務に直結する研修やマニュアルを通じて、組合員の皆様の技術向上を支援していきます。

耐震が変わる
診断も変わる

13年ぶりに「耐震診断法」が変わる

診断法がより専門的になり難易度が上がる可能性も

自治体での精密診断への移行が進行中

現地調査の精度がより重要になる

4号特例縮小により既存住宅での耐震診断需要が増加

木耐協も“次の基準”を共に

診断法が変わりより一層問われる診断技術

(財)日本建築防災協会が発行する『木造住宅の耐震診断と補強方法』が、13年ぶりに改訂されます。2025年末〜2026年初頭には新たな診断法が公表され、一般診断法は精密診断に近い内容になる見込みです。木耐協では、研修やマニュアルを刷新し、改定版に対応いたします。

耐震診断の専門性が一層高まることで、工務店やリフォーム会社にとっては取り組みが難しくなる一方、リフォーム・リノベーション、空き家活用が進む中で、「耐震」はこれまで以上に強みとなります。木耐協はこれからも組合員の皆様の耐震事業をサポートして参ります。

耐震技術が問われる時代へ

講演紹介 1

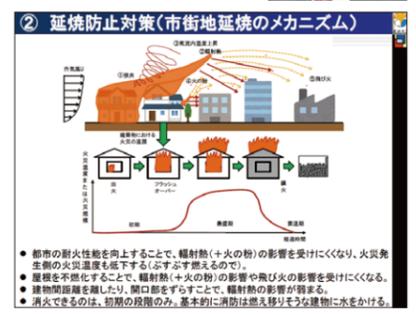
▶ 広域火災とその対策

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 廣井 悠 氏



<講演のポイント>

- 近年の広域火災事例から、わが国の都市・国土は、まだまだ燃えると結論。
- 準耐火建築物への建て替え・開口部や壁の防火改修が延焼防止に有効。ただし、ハードルが高い。
- 強い家づくりの参考に、能登半島地震時の火災の「焼け止まり」の事例を紹介。



講演紹介 2

▶ 地震に強い家とは? 知っておきたい耐震診断と補強のポイント

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 事務局長 関 励介 氏



<講演のポイント>

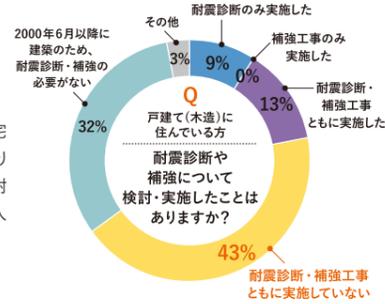
- 地震の被害状況で建築基準は変わってきた。2000年以前の木造住宅は耐震対策が必要。
- 発生確率や地震回数によらず、日本全国で大地震は起きるものとして対策する。
- 地震に強くするための補強工事の方法や費用の目安を紹介。



受講者アンケート結果

▶ 「木造戸建てに住み、耐震診断・補強工事ともに実施していない人」は、43%

現在の住まいで、戸建て(木造)が一番多く71%。次いで共同住宅(RC・鉄骨造)21%、戸建て(木造以外)5%、共同住宅(木造)3%となりました。さらに「戸建て(木造)」の方に右の質問を行った所、43%が耐震診断・補強工事ともに実施していないと回答。防災に関心が高い人でも耐震診断・補強を実施していない方が多いことが分かりました。



<様々な感想をいただきました>

- 周りからの火をもらわないためにも、火事になりにくい住宅が必要だということ。全面的なリフォームは無理だが、開口部等一部分の対策でもだいぶ違うことが分かった。
- もっと早く知っていたら丈夫な家づくりができたのに...と後悔することばかり。これから家を建てる人たちが知識をもって工務店と話せるようになるのかなと思います。

木耐協 関による講演のアーカイブ動画は
右記QRコードからご覧いただけます



Vol.04

2025年 第4回 消費者向けオンラインセミナー
▼テーマは『広域火災対策&地震に強い家』のべ180人にご参加いただきました!

木耐協主催で年4回開催する無料の消費者向けオンラインセミナー。今年最後となる第4回を10月18日(土)に開催しました。講演の様子と、受講者のアンケートを一部紹介します。



木耐協
あれこれ
寄稿

澤口司理事(スイコー/宮城県仙台市)が
国土交通大臣表彰を受賞!

今

年10月の住生活月間功労者を務められている澤口司理事が「国土交通大臣表彰」を受賞されました。おめでとうございます!

木耐協設立時から組合員として活動され、宮城県の耐震化を牽引する澤口理事。組合員向けの講演では自社のノウハウを取り組みを惜しみなく共有していただきました。また、理事を永く務められる中では、新築・リフォーム

澤口 司氏
株式会社スイコー 代表取締役

この度は、国土交通大臣表彰という身に余る光栄にあずかり、誠にありがとうございます。特に、ご推薦いただきました木耐協の皆様は心より御礼申し上げます。私の原点は阪神・淡路大震災の支援活動であり、以来一貫して住宅の耐震化に取り組んでまいりました。この受賞を励みとし、今後も組合員の皆様と共に、日本の住生活の安全・安心の向上のため、一層精進してまいります。

ム・不動産各業界の知見を紹介いただき、木耐協のサービスや研修の構築に貴重なご意見をくださいました。これまでの活動が認められての受賞は、組合員としても非常に嬉しいニュースです。

表彰式は10月11日(土)にホテル犀北館長野(長野県長野市)の住生活月間中央イベント記念式典で行われ、高円宮妃殿下や中野洋昌国土交通大臣、長野県知事や長野市長も臨席されました。

住生活月間中央イベント「信州住宅フェア2025」も開催!

10月11日~12日の2日間、長野五輪のスケート競技会場として建設された「ホワイトリング」で、「信州住宅フェア2025」が開催されました。行政・団体・工務店・リフォーム会社等が出展し、家族連れが多数来場していました。



これからの
工務店は
営業しない!

相続相談から始まる 新たな受注戦略

このほかにも、権利関係に起因する不動産のトラブルは少なくありません。たとえば、建物が未登記のままになっている、増改築後に登記の変更をしていない、古い抵当権がそのまま残っているといったケースです。こうした状態では、売却や解体、再建築といった活用が制限され、対応が難しくなります。

(速報集計)より

相続に伴う住宅相談が多いのが、実家の空き家問題です。介護や施設入所、入院、親族が遠方に住んでいるなどの事情で、空き家が放置されるケースは年々増加しています。2023年時点で全国の空き家は約900万戸に達し、住宅総数に占める空き家率は13.8%と過去最高を更新しています。※1 総務省、令和5年度住宅・土地統計調査

さらに、共有名義の建物や土地もやっかいです。複数の相続人間で解体や売却、修繕の判断に合意が得られず、話がまとまらないまま時間だけが過ぎてしまうケースも少なくありません。こうした場面で重要なのは、いきなり法律や手続きの話をするのではなく、「まずは状況を見てアドバイスしてくれる人」が身近にいることです。建築業者がその最初の相談先になれば、お客様は安心して話ができます。「現在このような状況です」「今後このような問題がありそうです」「どう思いますか」「どうしていった方が良いですか」という具合に現状を整理するだけ

でも信頼が生まれ、結果として工事や手続きの依頼につながります。相続相談は多岐にわたりますが、まずは一歩踏み込んでお客様の不安に寄り添うことが、ビジネスチャンスを広げる第一歩です。今回は「家を残したい」という希望に答え、耐震・バリアフリー・リフォームなどの提案ができる切り口をご紹介します。



プロフィール

株式会社デザインライフ
代表取締役 杉村洋介

岡山県出身。26歳で保険代理店「デザインライフ」を設立後、2015年より相続コンサルタント事業を開始。年間約500件の相続相談に対応し、遺言・信託・相続税・登記・保険・不動産など幅広くサポート。現在は全国の相続専門教育にも携わる。

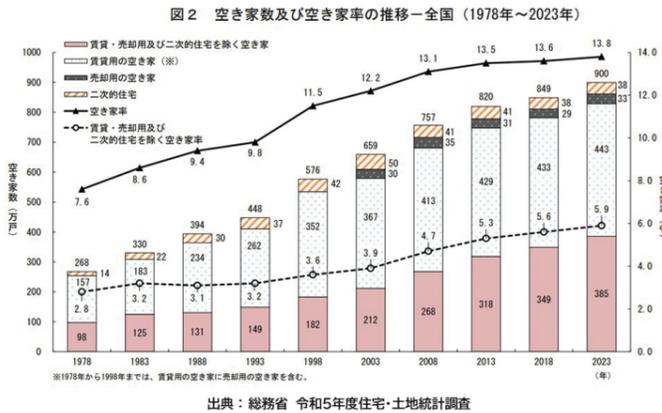
Tel 0120-009-422
E-mail dl-consultant@design-life.jp
Webサイト https://design-life.jp
住所 〒700-0975 岡山県岡山市北区今3-9-12

第4回

空き家、未登記、共有名義

相続がらみの不動産トラブルに
建築業者ができること

全国の空き家は900万戸で増加の一途



2025年
12
月号

耐震診断・補強の疑問・質問にお答えします!

鈴木顧問の技術通信



鈴木芳郎 千葉県生まれ。1級建築士。2024年に木耐協技術顧問に就任し、研修会講師を担当。以前、執行役員を務めていた会社で工務店経営コンサルタントや商品開発支援、仮設住宅建設に尽力。

今月のテーマ

見えない筋かいの評価方法について

「現地調査実践研修会」に全国からご参加いただいています。耐震診断の精度は、現場で得られる情報の確かさにかかっています。限られた時間や条件の中で、いかに正確に構造を読み取り、裏付けのある判断を下すかが求められます。『耐震改修＝命を守ること』を前提に現地調査技術を磨いて参りましょう。

さて、今回は現場でしばしば直面する「目視できない筋かいの判断」を取り上げます。小屋裏や壁内で確認できない筋かいをどう評価するかで、診断結果が大きく変わります。安全側にみるのか、経験則から推定するか—診断者は現場ごとに最適な判断を下す必要があります。

テーマ 目視できない筋かいの判断

現場で筋かいの有無を確認できない場合、判断の仕方には大きく2つの考え方があります。

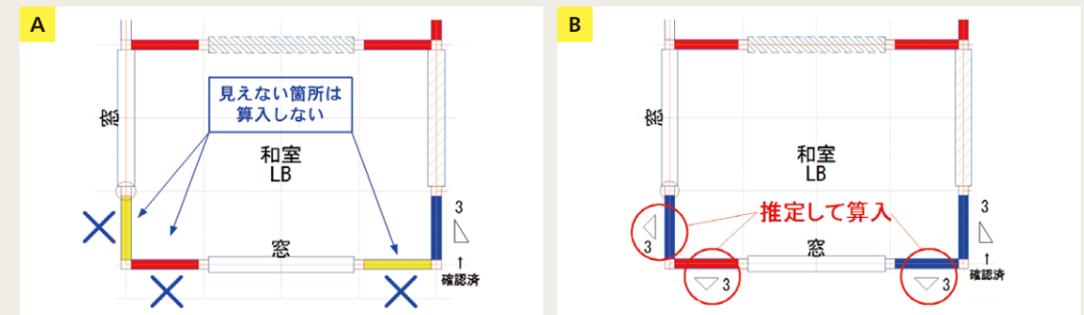
A. 安全側に評価する(筋かい「なし」とみなす)

目視や触診で確認できなかった筋かいは、存在しないものとして扱います。耐力を見込まず、安全側で評点を算出する方法です。

B. 経験則で「あり」と推定する

信頼できる図面があり、一部だけ確認できた場合などは、建て方の傾向や対称性から筋かいが入っていると推定することもあります。

どちらの方法を採用するかは、現場の状況や確認精度を踏まえた診断者の判断によります。また、耐震改修工事などで解体時に現地調査とは異なる構造が確認できた場合は、実際の構造に応じた再設計を行い、耐震性を確保しましょう。



	A: 筋かい無しとして評価	B: 筋かいが入っていると推定して評価
評点に与える影響	全体的に評点が下がる傾向がある	極端に評点が下がることはない
注意点	確認できる部分だけでは、壁の配置バランスが悪くなる可能性がある	推定部分に入っていなかった場合には過大評価となるおそれがある

技術的なご相談はこちらへ!

Mail mts@mokutaikyo.com Tel 03-6261-2040 (木耐協事務局)

社員がもっと活躍できる 人事基礎講座

社員の育成は業績に直結した重要事項です。採用が難しい現在にあっては離職防止にも効果があります。育成を考える時には誰が講師でどのようなテキストを使うかという事ではなく、「誰を・いつまでに・何が出来るようにするか」を考えると良いでしょう。研修は同じ年代やキャリアの人とグループにして進めると思いますが、習得については個人差がありますので、学んだ事をいつまでに出来るようになるかは個別にゴールを設定して進捗の確認をしましょう。

育成をスタートするときを考える事？

出来る事を増やす
育成が大事

第10回

若い世代の方には教える際にも工夫が必要です。ネットやAIを使える彼らは自分で知らない事は調べます。ゆえに知識を増やすだけの研修は面白くないと感じてしまいます。そのため、知識ではなく出来る事を増やせる育成をすることが、教わる方は実績に繋がりが、仕事が面白くなると思います。

さらに、やり方を教えるだけではなく、できるようにしているかどうかを会社や上司が伴走して確認する事が大切です。また育成と言うと若手や経験

教えるより、伴走する事が大事

育成では
「知識」より「できること」を増やし
若手だけでなく幹部自身も育成する

の浅い人を対象に考えがちですが、幹部社員自身も育成を進めなければなりません。幹部社員が部下や後輩を指導するとき、自らのこれまでを振り返り整理する事も学びになります。自らも動きながらになりますので難しいかもしれませんが、これも「何を・いつまでに」を意識して進めていきます。

すぐに成果が出ないからこそ、上司の伴走が重要になります。育成のゴールは、出来なかった事が出来るようになる事で仕事を楽しくし、喜んでいただける顧客を増やす事だと思えます。業績増や離職減はおのずとついてくると信じて進めましょう。

プロフィール



石原直之

1989年に新卒でホームイング(現ミサワリフォーム)に入社。1992年ホームテック(東京都、売上65億)創立に参加。取締役として営業、マーケティング、新規事業部門長を歴任。2020年より中小リフォーム会社の経営者の業務をサポートする業務支援株式会社を設立し現在にいたる。日本住宅リフォーム産業協会(ジェルコ)理事、事業開発統括委員長も務める。

業務支援株式会社 E-mail ishihara@g40.biz

シ道

資格は武器になる

視野や知識を広げ、お客様への提案に役立つ資格をご紹介します。

「ライティングコーディネーター」は、住宅、店舗、オフィスなどの建築空間、エクステリアの目的や感性に応じて光を設計・演出する専門家です。近年は「1・健康・感性照明など照明の役割が多様化し、設計・施工・演出に活かす体系的な学びが求められています。講座を通じ知識を習得することで、より良い光環境づくりのアドバイザーとして提案の幅が広がり、顧客満足度の向上にもつながります。

第17回
**ライティング
コーディネーター**

ポイント

光の専門家としての
照明提案で
顧客満足度アップ

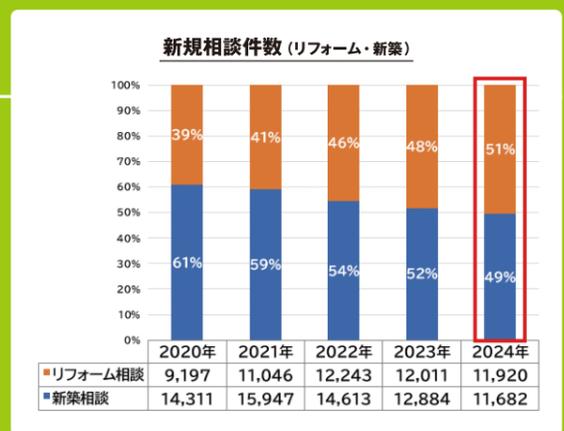
- ▶ 資格取得方法: 2日間の集中講座 ※zoom配信・通信講座もあり
- ▶ 資格取得費用: [教材費、受講料及び認定登録料] 49,500円(税込)
※年会費5,500円(税込)は認定試験合格後、必要になる
- ▶ 受講資格: 電気・インテリア関連の実務経験3年以上の方、電気・建築学科等の学科卒業生など資格要件あり
※詳細は協会HPを参照 ※資格要件がない通信講座もあり
- ▶ 開催月: 年3回、2月・6月・10月に開講
- ▶ 管理団体: 一般社団法人日本ライティングコーディネーター協会
<https://jlca.or.jp/>

News & Topics

電話の相談件数、初めてリフォームが新築を上回る「住宅相談統計年報2025」

(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターがこの度、「住宅相談統計年報2025」を公表しました。2024年度の電話相談全体における新規相談件数は30,812件、前年度比では約5.4%の減少。うち新築に関する相談が11,682件だったのに対し、リフォームの相談は11,920件。集計開始以来、初めてリフォームの相談件数が新築を上回りました。

(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター
<https://www.chord.or.jp/news/2025/2025.html>



木耐協 イベント 広場

現地調査実践研修会

(埼玉:木耐協埼玉研修所)

2025年10月9日(木)

組合員交流会

(広島:TKP広島本通駅前カンファレンスセンター)

2025年10月21日(火)

床下で調査できるのかがとても不安で、研修所(住宅)の外観を見ても床下に入れるものなのかと思いました。ですが、いざ入ってみると意外と大丈夫で自信が付ききました。



株式会社大功(千葉)
山田るりか 様

日頃のリフォーム工事の事前調査とはまた違う『診断』の観点から調査実務を学べ、大変役に立ちました。今後、耐震診断の実績を積み重ねて耐震のエキスパートを目指します。



ベクトル建築工房株式会社(大阪)
紙屋将一 様

地震から住まいを守り、安全・安心な暮らしを支えるために、耐震診断と補強の重要性を改めて実感しました。今後も研修に参加し、最新知識と技術を身につけていきたいです。



松井産業株式会社(埼玉)
松井孝司 様

経営者として、本気で耐震に取り組む覚悟で参加した交流会と懇親会は、有益な情報と学びの宝庫でした。勇気を出して初めて参加させていただき本当に良かったです!



株式会社高月工務店(山口)
高月圭子 様

杉村さんの話から、今後の相続コンサルの必要性を感じました。小野理事長の話は、読書量から来る豊富な知識・語彙力で勉強になりました。またお勧めの本を読んでみます。



株式会社マエダハウジング(広島)
前田政登己 様

耐震化は、家族の命を守るだけでなく、不動産の継承や売却という「相続の出口」戦略においても極めて重要な位置づけにあり、親和性が高いことを改めて気付かされました。



株式会社デザインライフ(広島)
小林健太郎 様



イベントスケジュール	開催日	時間	イベント名	会場	エリア
12月	3(水)	15:00~16:00	倫理向上委員会	木耐協半蔵門事務所	東京
	5(金)	14:00~17:00	理事会	八重洲倶楽部	東京
12.27(土)~2026.1.4(日)事務局冬期休業					
2026年1月	8(木)	13:30~17:00	全国大会 第28回大会	アキバプラザ アキバホール	東京
		17:20~19:00	全国大会 賀詞交歓会	アキバプラザ レセプションホール	東京
2月	下旬	14:00~17:00	理事会	未定	東京
3月	5(木)	13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉
		14:00~17:00	技術向上委員会	木耐協半蔵門事務所	東京
4月	16(月)	15:00~	第28期 通常総会	未定	東京
		13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉
5月	14(木)	13:00~17:00	現地調査実践研修会	木耐協埼玉研修所	埼玉

※諸般の事情によりイベントが中止・変更になる場合がございますので予めご了承ください。
※各イベントの概要や詳細についてはお気軽に木耐協事務局へお問い合わせください

Book Review

今号の理事長オススメはこの一冊!

「AIを使って考えるための全技術」『最高の発想を一瞬で生み出す56の技法』

今やAI無しでは仕事にならず、会議等の準備や議事録に便利な「ブラウザドント」、「Chat GPTをはじめとした「対話型AI」を使わない日はありません。

そんな中、この700ページ近い本の厚みは何と4センチ。サブタイトルは「『最高の発想』を一瞬で生み出す56の技法」とあり、実際に対話型AIをどのように使うと効率が良い回答が得られるかの具体的な技法が網羅されています。私達の仕事から「考える」という人間本来の能力は除いて、機械に任せたい方が良いと説いた本です。

この本を読むと「頭の良さ」とは何か?と、考えさせられます。私ごとですが社会人になって今年でちょうど50年。沢山の人達と仕事をして来ましたが、「頭がいいなあ」と思った人は何人も居ました。一般的に学歴が良いと頭がいいと思われがちですが、学歴がある人は「記憶力と忍耐力」が子供の頃に有った人だ

AIを使いこなすために
必要な新時代の思考スキル



AIを使って考えるための全技術
『最高の発想』を一瞬で生み出す56の技法
著者/石井力重
発行/ダイヤモンド社
価格/2,700円(税別)



と思います。私のように、そうでない人は、その片方が両方が無かった人。一生は長いので挽回の機会はあるし、社会に出て頭がいい人と、学歴がある人とは、別の意味だと思えて生きて来ました。しかし、一旦AIを使うと、もう学歴的な頭の良さは必要がない時代に入っていることを実感させられます。使い始めた途端、いっぺんに優秀な部下が何人も出た状態になり、それも瞬時に答えを出してくれます。毎日、時間を問わず何回呼び出しても文句も言わず、ご飯も食べず、たまに呑みに連れて行く必要もないのです。

私は今、ビジネスに於いて「革命」が起きていると思っています。好きも嫌いも関係なく、AIを使わなければ生き残る事が難しい時代になりました。自分を助けてくれる周りの人達の情けに報いるためにも、そこにある「情報こそが全ての原点と、しっかりと勉強していきましょう。

事務局通信

● 編集後記 ●

時代の流れなので、私もChatGPTのある程度は使っています。しかし、彼らは褒めてくれるばかり追加提案もしてくれるので、使い方を間違えないように気を付けたい、と言われるがままになってしまうので注意しています。

また、巷では検索もGoogleやYahooではなくChatGPTになっているようです。情報を鵜呑みにしないよう、今まで以上に基本的な知識と取捨選択する力が重要になっている気がします。(関)

🏆 第28回全国大会の講演者が決まりました!

2026年は熊本地震から10年、東日本大震災から15年の節目であり、耐震診断が変更される年です。ぜひご参加ください。

<p>日時: 2026年1月8日(木) 13:30~(終了後、賀詞交歓会)</p> <p>会場: 富士ソフトアキバプラザ アキバホール ※時間等は変更になる場合がございます。</p>	<p>木造住宅の耐震診断と補強 ~これまでとこれから~ 工学院大学 名誉教授 河合直人氏</p>	<p>生成AIでリフォーム業界はこう変わる!(仮) 株式会社タンドリワーク 代表取締役 加賀爪 宏介氏</p>	<p>木造住宅の水害からの再建支援 ~工務店の仕事として~ 信州大学工学部建築学科 助教 中谷岳史氏</p>
---	---	--	---

📖 防災専門図書館のご紹介

今号の表紙データをご提供いただいた防災専門図書館は、災害・防災・減災等に関する資料を17万冊所蔵する専門図書館で、どなたでも無料で閲覧・問い合わせ可能です。

防災専門図書館
住所: 東京都千代田区平河町2-4-1 日本都市センター会館8階
開館時間: 平日9時~17時

防災専門図書館 ホームページ



発行 ● 国土交通大臣認可法人 **日本木造住宅耐震補強事業者協同組合**
 発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子
 所 在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03-6261-2040 fax 03-6261-2041

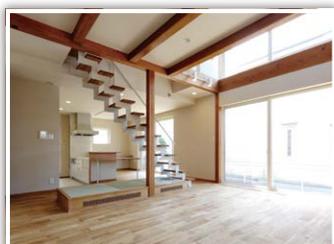
組合員さん

こんにちは！

事務局員がおじゃまします



断熱性能にこだわった施工事例



株式会社 葵建設様

名古屋市区

信頼を生む「第三者目線」
まずは「判断基準」を共有

愛知県名古屋市中区で新築・リフォームを手がける葵建設の岩塚社長にお話を伺いました。同社は「賢いあなたの「賢築」アドバイザー」を掲げ、家づくりの情報が氾濫する時代に、お客様自身が「選ぶ力」を持てるよう伴走する会社です。

「見積もりを比較しても、どの提案が自分に合うのか分からない」という声が多いため、葵建設様ではまず、判断基準を共に探すところからスタートします。造り手の都合による説明を排し、技術的な裏付けのある情報を丁寧に伝える。その第三者性が、信頼できる相談相手として多くの支持を集めています。

真摯な対話が
信頼関係を育む

「他社の提案のデメリットだけを伝えるのではなく、メリットを含め客観的な視点で自社の提案との比較を情報として伝え、どうすればその方にとって良い選択になるかを一緒に考える。その結果として、工事をご依頼いただくことが多いです」と、岩塚社長。

お客様の考えを整理し、判断基準を共に構築していくための対話で、自然と信頼関係が生まれていくといいます。その根底には、「真摯さ」へのこだわりがあります。「知りながら害をなすな」を行動指針に掲げ、たとえ自社に不利な内容であっても、正しい情報を伝えることを貫かれています。

30年後も価値を保つ家へ
“直す”だけでなく
“高める”リフォーム

単に「壊れたから直す」のではなく、暮らしの価値を高める提案を重視されています。「お客様が

抱える住みにくさの原因を正しく診断し、将来の不具合を防ぐ設計・施工を行うことが、本当の意味でのリフォームです」と岩塚社長。

その発想の延長線上にあるのが、「30年後も価値を保ち続ける家」というテーマです。美観や性能だけでなくとどまらず、長期的に安心して暮らせる高性能な住まい、そして家族の物語を育む空間づくりを追求しています。誠実な対話を積み重ねながら、「賢い選択」を導く姿勢こそが、地域で厚い信頼を得る理由です。



▲代表取締役
岩塚 真樹

資料や数字を元に客観的に比較することが信頼につながるというお話が印象的でした。お客様からの信頼を得るこうした取り組みは、住宅業界に限らず大切な視点だと感じました。

事務局：伊藤



木創協マンスリーレポート
2025年12月号 Vol.1324

発行：国土交通大臣認可法人日本木造住宅制震補強事業者協同組合
発行人：小野秀男 編集：関 剛介、伊藤健三、運美寿子

東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階
Tel: 03-6261-2040 Fax: 03-6261-2041